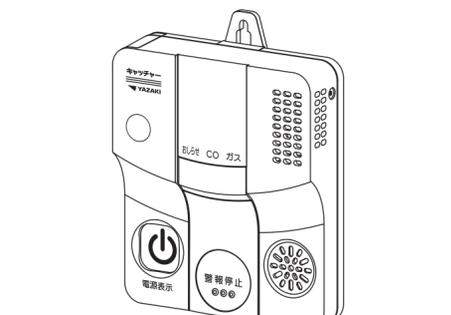


- ガス・CO警報器「キャッチャー」をお取り付けいただきありがとうございます。
- この取扱説明書はガス・CO警報器「キャッチャー」の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、**ガス事業者**にお問い合わせください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にはガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が動きません。



保証書

製品名 ガス・CO警報器 **キャッチャー**

このたびは、ガス・CO警報器 **キャッチャー** をお取り付けいただき、まことにありがとうございます。

この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容にて無償点検あるいは、無償取替えを行うことを、お約束するものです。

家庭用	
形式	YF-778B(空気より軽い12A・13Aガス用)
製造番号	
お取付年月日	年 月 日
保証期間	お取付年月日より 5年 間
お客さま	〒 ご住所
	お名前
販売店	電話 ()
	住所・店名
電話 ()	

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元(本社) 〒108-0075 東京都港区港南-1丁目8番15号Wビル7F
販売元(天竜工場) 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111 (お問合わせ先) ガス機器事業部 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111

警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

【お断わり】

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が動きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付部近づくでガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

△危険 誤った取り扱いをすることで「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

△警告 誤った取り扱いをすることで「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

△注意 誤った取り扱いをすることで「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

- 絵表示の内容
- 「必ず行う」事項を示しています。
 - 「分解禁止」事項を示しています。
 - 「火気厳禁」事項を示しています。
 - 「水ぬれ禁止」事項を示しています。

△危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。

● ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をして、使用中のガス機器を止めてください。

● マッチやライターなど、火気を使わないでください。

● 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

● 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

● CO警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

● CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をして、使用中のガス機器を止めてください。

● 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

△警告

● 常に電源が入っていること(電源表示「**⏻**」点灯)を確認してください。

● 電源が入っていないとガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

● 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えてください。

● 誤動作または正常に作動しない恐れがあります。有効期限は、警報器本体に示しています。

● 殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.6参照)

● 警報器をポリ袋などで覆う。

● 殺虫剤の使用が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。警報器が作動しません。

● 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・発煙・発火の恐れがあります。

● 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

● 衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

● 警報器を廃棄する時以外は、専用リチウム電池を取り外さないでください。

● ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

● ガス検知部は、絶対にふさがないようにしてください。

● ガスもれまたはCOを検知しなくなりました。

● 煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。

● ガスセンサの故障の原因となります。

△注意

● 警報器の取り外し・取り付けを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

● 転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

● 取付位置を移動させないでください。

● 警報の遅れの原因となります。

● 取付位置を変える必要が生じたときは、ガス事業者にご相談ください。

● 警報器の前に物を置いたり、取り付けたらしないでください。

● 警報の遅れの原因となります。

● 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。

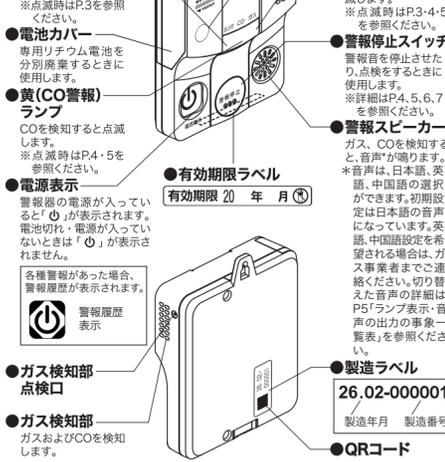
● ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離しておいてください。

対象ガス

● この警報器は、都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。

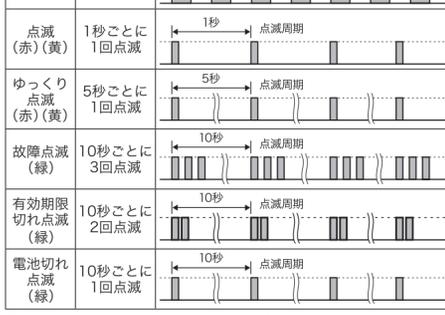
● 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



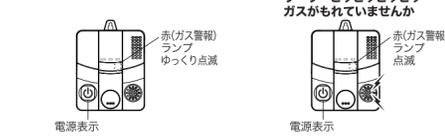
■ ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。



警報器のお知らせ機能について

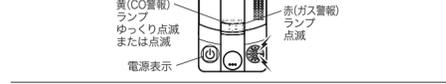
ガスがもれたときは



ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは



ガスもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは



故障しているときは

● 故障が発生すると、「故障です」が1回鳴り、緑(おしらせ)ランプが故障点滅します。

● その後に「ピッピッ」と約1分ごとに繰り返して鳴り、約1時間ごとに「故障です」が鳴ります。

● それ以降も同じ警報音を繰り返します。ただし、警報停止スイッチを押すと、「故障です」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。

● 緑(おしらせ)ランプの故障点滅は止まりません。

● ※ガス事業者までご連絡ください。

● ※ガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。

● ※約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、故障の音声を発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。

● ※約36時間を経過すると、再度故障警報音が鳴ります。

有効期限が過ぎたときは

● 有効期限を半年以上過ぎると緑(おしらせ)ランプが有効期限切れ点滅します。

● 鳴動音は鳴りません。

● ※ガス事業者までご連絡ください。

電池切れのときは

● 電池切れが発生すると、「電池切れです」が1回鳴り、緑(おしらせ)ランプが電池切れ点滅します。

● その後に「ピッ」と約1分ごとに繰り返して鳴ります。

● ただし、警報停止スイッチを押すと、「電池切れです」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。

● 緑(おしらせ)ランプの電池切れ点滅は止まりません。

● ※ガス事業者までご連絡ください。

● ※ガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。

● ※約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、電池切れの音声を発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。

● ※約36時間を経過すると、再度「ピッ」音が鳴ります。

使用方法および設置時の確認

以下の操作は、初回の電源起動に関するものです。警報器起動(電源表示「**⏻**」が点灯)後の確認は、P.6-7に記載している「点検方法について」をご確認ください。

1 警報停止スイッチを約3秒押す。

● 「ピッ」と鳴り、電源表示「**⏻**」が点灯し、緑(おしらせ)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

2 約30秒後、ランプが全点灯した後、全消灯します。

3 「警報器正常です」と鳴って、監視状態に入ります。

● 「警報器正常です」とは鳴らずにP.3に記載している故障発生時の動作となります。

● ※ガス事業者までご連絡ください。

4 ガスもれの原因を点検する。

● 原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

3 黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅しているときの処置のしかた(CO注意報)

1 ドアや窓を開けて換気する。

● しばらく換気を続けると、黄(CO警報)ランプは消灯します。

2 原因を確認する。

● CO濃度がうすい場合にゆっくり点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.5参照)

4 『ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた【黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅または点滅】(CO警報)

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

● 黄(CO警報)ランプ消灯

5 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウー ピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた【赤(ガス警報)ランプが点滅、黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅または点滅】(ガス警報とCO警報の同時警報)

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

● 黄(CO警報)ランプ・赤(ガス警報)ランプ消灯

4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

● 原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

6 部屋の外から警報音に気づいたときは

1 部屋に入らない。

● 室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

● メーターガス栓を開けるときは**ガス事業者**にご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

● 原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

最寄りのガス事業者へ連絡する。

● たばたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)

● ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますが、これらの機器についても点検を受けてください。

7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れで、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

● 「警報音を止めたいとき」

● 警報停止スイッチを押すと、警報音は約5分間止めることができます。

● CO警報は、黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ約5分間止めることができます。

● ※警報器周囲の空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。

2 警報器周囲の空気の汚れがなくなると、ランプの点滅や警報音が止まる。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

● 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などでの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響をおよぼす室内の清潤成分(シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス(エアコンの冷媒ガスなど)の作用により警報が鳴りやすくなる)があります。また、まれに鳴り続けることがあります。

● 建材などが発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。

● スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。

● タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。

● 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。

● プローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していないか。

● 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。

● みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。

● 可燃性のガスなどを使用していないか。

● 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していないか。

● ガスコンロの着火ミスがありませんか。

● 自動車の排気ガスが室内にもつていませんか。

● 炭火や練炭を使用していないか。

● 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

● 警報器を設置した状態で、十分な換気をとせずに内装工事(リフォーム含む)を行っていませんか。揮発成分がセンサに影響を与え、誤報を誘います。また、内装工事(リフォーム含む)を終えた段階でも、十分な換気が行われなかった場合、同様に事象が発生します。

おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますのでドアや窓を開け、しばらく換気を行ってください。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

電源表示	ランプ	音声内容	事象	対応方法
消灯	消灯	なし	通常動作(監視中)	—
消灯	消灯	ゆっくり点滅	ガス注意報	P.3参照
消灯	消灯	点滅	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ」ガスがもれていませんか	ガス警報 P.3・4参照
消灯	ゆっくり点滅	なし	CO注意報	P.4参照
消灯	ゆっくり点滅	点滅	CO警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報 P.4参照
消灯	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	なし	ガス注意報とCO注意報 P.3・4参照
消灯	ゆっくり点滅	点滅	ガス警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ」ガスがもれていませんか	ガス警報とCO注意報 P.4参照
消灯	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	CO警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報とガス注意報 P.3・4参照
消灯	ゆっくり点滅	点滅	CO警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ」ガスがもれていませんか	ガス警報とCO注意報 P.4参照
消灯	ゆっくり点滅	点滅	CO警報音声「ウーウー ピッピッピッピッ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報とガス注意報 P.4参照
3回/10秒点滅	消灯	消灯	故障警報(警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)	ガス事業者に連絡してください。
2回/10秒点滅	消灯	消灯	有効期限切れ(警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態)	ガス事業者に連絡してください。
1回/10秒点滅	消灯	消灯	電池切れ警告音声「電池切れです」(ピッ)(約1分ごと)	電池切れ P.4参照

※故障したときは、上記以外の表示および音声となる場合があります。この場合、ガス事業者にご連絡ください。また、以下の音声も鳴ります。

● 英語音声設定の場合(日本語と英語の交互音声)

● 日本語音声設定の場合(日本語と中国語の交互音声)

お手入れのしかた

1 警報器を取り外す。(P.6参照)

2 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。

● 布に水または石けん水を浸し、よく絞ってふき取ってください。

● お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。

● アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

3 警報器を取り付ける。(P.6参照)

4 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。(P.6参照)

警報器の取り外し・取り付けかた

■木ねじの場合

《取り外しかた》
木ねじをゆるめて警報器を取り外す。
《注意》
強く引っ張ると取り付けしている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。
《取り付けかた》

1 警報器を木ねじに引っ掛ける。

2 木ねじを締め付けて固定する。

《確認》
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

■取付フックの場合

《取り外しかた》

本体を持ち上げて取り外す。

《取り付けかた》

警報器を取付フックに引っ掛ける。

《確認》
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは

殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただくと、警報器が「鳴り出すのを防ぐ効果があります。

△警告

殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。警報器が作動しません。

△注意

警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。転落、転倒、落下の原因になります。

1.警報器をポリ袋の中に入れる

警報器を取り付けている部屋で殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

《準備するもの》

- ポリ袋 (30cm×40cm・1枚)
- ポリプロピレン製 (※または>PP<表示)
- ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも (1本)

《処置のしかた》

- 警報器を取り外してください。(P.6参照)

- 警報器をポリ袋の中に入れ、袋の口をひもで縛ってください。

- ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

2.殺虫剤を使用する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の殺虫剤を使用したとき。必ず、部屋の広さに応じた容量の殺虫剤をご使用ください。
- 殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用したとき。ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

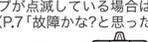
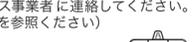
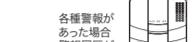
3.ポリ袋を取り外す

殺虫剤の使用が終わったら、ポリ袋から取り出し、警報器を元の位置に取り付けてください。

点検方法について

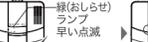
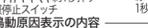
日常点検

日常、警報器の電源表示「**Ⓛ**」が点灯していること、緑(おしらせ)ランプが消灯していることを確認してください。
※電源表示が消灯であったり、警報履歴がある場合、緑(おしらせ)ランプが点滅している場合は、ガス事業者に連絡してください。(P.7「故障かな?と思ったら」を参照ください)

鳴動原因確認

- 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認してください。
- 警報停止スイッチを約1秒間押しと「**ピー**」と鳴り、緑(おしらせ)ランプが早い点滅を開始します。
- 「**ピー**」と鳴ったらすぐに手を離してください。
- 全ランプが1秒間点灯した後、過去10日間の作動状況をおしらせします(鳴動原因表示)。
- 「警報器正常です」が1回鳴れば正常です。定期点検動作

音声内容	ランプ	警報の種類	
緑(おしらせ) 点灯	黄(CO警報) 点灯	赤(ガス警報) 点灯	ガス警報
消灯	消灯	消灯	CO警報
消灯	点灯	消灯	故障警報
点灯	消灯	消灯	故障警報
早い点滅	消灯	消灯	電池切れ
消灯	消灯	消灯	警報がありません
消灯	消灯	消灯	警報履歴なし

※電源投入後約 25 分以内に鳴ったガスとCO警報は、作動履歴には残りません。

警報ランプと警報音の確認

△警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

- 警報停止スイッチを約3秒間押しと、「**ピー**」と鳴り、緑(おしらせ)ランプが早い点滅を開始します。
 - 約3秒間押し
- 警報停止スイッチから手を離すと以下のよう動作します。

動作順	音声内容	ランプ	警報の種類	
		緑(おしらせ)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)
1	ウーウーピーッピーッピーッ ガスがもれていませんか	早い点滅	消灯	点滅
2	ウーウーピーッポッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	早い点滅	点滅	消灯

※下記、「警報音の言語切り替え」で英語または中国語に設定変更した場合は、設定された言語での音声内容になります(英語設定であれば、日本語音声の後に英語音声がかかります)。

- 「**ピー**」と終了音が鳴り、監視状態(緑(おしらせ)ランプ消灯)に戻ります。
 - 約3秒間押し

※音声警報中に本機能を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「**ピー**」と鳴り、終了します。

警報音の言語切り替え

警報音は、日本語、英語、中国語に切り替えることができます。初期設定は日本語の音声になっています。
※英語、中国語に切り替えを行っても、ガス警報音、CO警報音以外は日本語音声となります。

《警報音の切り替えかた》

- 警報停止スイッチを約6秒間押しと「**ピー**」「**ピー**」「**ピー**」「**ピー**」と鳴り、緑(おしらせ)ランプが早い点滅開始します。
 - 約6秒間押し
- 警報停止スイッチから手を離すと変更後の音声設定でガス警報音が鳴ります。

変更後の音声設定	音声内容
英語	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか <p>ウーウー ピッピッピッピッ Danger Gas Danger Gas</p>
中国語	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか <p>ウーウー ピッピッピッピッ 燃气泄漏 危险 燃气泄漏 危险</p>
日本語	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか

- 「**ピー**」と終了音が鳴り、警報音の切り替えが完了します。
- 上記操作をするたびに、日本語→英語→中国語→日本語の順に警報音が切り替わります。
- ※英語や中国語に音声を切り替えた場合は、日本語と英語(または中国語)が交互に鳴ります。
- ※警報音の言語切り替えを行った後に設定した言語での警報音を確認された場合は、上記の「警報ランプと警報音の確認」を行ってください。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
電源表示「 Ⓛ 」が点灯していない。	警報停止スイッチを押して、警報器が動作するか確認してください。	電源表示「 Ⓛ 」が点灯しない場合、ガス事業者に連絡してください。
緑(おしらせ)ランプが点滅している。	10秒ごとに3回点滅 <p>警報器の故障をしらせています。</p>	ガス事業者に連絡してください。
	10秒ごとに2回点滅 <p>警報器の有効期限切れをしらせています。</p>	有効期限が切れていれば、ガス事業者に連絡してください。
	10秒ごとに1回点滅 <p>警報器の電池切れをしらせています。</p>	ガス事業者に連絡してください。
ガスもれ、COの発生に適切でないとき、赤ランプや黄ランプが点滅したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.4・5参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合はガス事業者へ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有償)
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
警報停止スイッチを押したときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。	約10日以内に警報を発していませんか。(P.6参照)	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.6参照)

原因を調べてください。(P.4・5参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合はガス事業者へ連絡してください。
ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有償)
ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.6参照)	

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書記載の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

- この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書に取付年月日および販売店名の記入のないものは無効となる場合がありますので、お取り付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、ガス事業者までご連絡ください。

廃棄について

△警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄方法を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあります。また、ケガをしたり、火災の原因になります。

《お買い上げいただいた警報器の廃棄》

お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
※必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。(分別方法についてはP.8参照。)

《警報器と専用リチウム電池の分別のしかた》

- 警報器側面にある電池カバーの図の指先が示す位置を押す
- そのまま上へスライドする
- 電池カバーを外す

- 押す
- スライドする
- 外す

- 専用リチウム電池を取り出す
- 電池コネクタを引き抜く
- 取り出す
- 電池コネクタを引き抜く

仕様

項目	仕	様
対 象 ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) <p>燃焼排ガス中のCO</p>	
検 査 方 式	接触燃焼式	
ガ ス注 意 報	作 動 条 件	・爆発下限界濃度の約1/100以上ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
表 示、発 報 方 式	表 示、発 報 方 式	赤(ガス警報)ランプゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) <p>発報音なし</p>
ガ ス注 意 報	作 動 条 件	・爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報
表 示、発 報 方 式	表 示、発 報 方 式	赤(ガス警報)ランプ点滅(1秒ごとに1回点滅) <p>音声合成警報音</p>
検 査 方 式	電気化学式	
CO注 意 報	作 動 条 件	300ppmのCOに対し 5分以内に注意報
表 示、発 報 方 式	表 示、発 報 方 式	黄(CO警報)ランプゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) <p>発報音無し</p>
CO注 意 報	作 動 条 件	550ppmのCOに対し 5分以内に警報
表 示、発 報 方 式	表 示、発 報 方 式	赤(ガス警報)ランプ点滅(1秒ごとに1回点滅) <p>音声合成警報音</p>
一 般 財 団 法 人 日 本 ガ ス 機 器 検 査 協 会 (JIA)	都市ガス用電池式ガス警報器検査規程 認証合格品	
警 報 音 量	70dB(A)/m以上	
電 源	DC3V(専用リチウム電池)	
共 通 付 属 機 能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限おしらせ機能	
仕 用 温 度 範 囲	0℃～+50℃(結露しないこと)	
寸 法 ・ 質 量	幅85x高さ100x奥行27mm(突起部を除く)、約150g	
付 属 品	取扱説明書(保証書付)(本書)x1 <p>木ねじ(φ3.1x16mm)x1、アタッチメントx1</p>	

※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界として、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

●施工される方へ

施工される方へのお願い

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。

お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、下記の表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●施工される方へのお願い

- 取付終了後に「P.10の自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「P.10の作動点検」を行ってください。

なお、作動不良の場合は交換してください。

- 必要に応じて、「P.8の警報器の説明」「P.8のお客さまへの周知事項」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。

- 警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

△注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。

お客さまへの説明について

- 警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。
 - 作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、保管していただくことのお願ひ。
- 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。

- ガス警報器の内容(赤(ガス警報)ランプ点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
- CO警報器の内容(黄(CO警報)ランプ点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
- ガス警報、CO警報の同時警報の内容(赤(ガス警報)ランプと黄(CO警報)ランプの点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
- 部屋の外にいて、ガス警報、CO警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
- 電池切れ警報、故障警報の内容と処置の説明。
- 誤報が発生する原因と処置の説明。
- スイッチ操作の説明。
 - 警報音停止
 - 点検

お客さまへの周知事項

- 保証期間5年。
- 警報器の有効期限のお知らせ。(本体に貼付の有効期限シールに表示)
- 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- 警報器の移設禁止。(移設依頼時の連絡先)
- 警報器の分解禁止。
- 引越時の処置。
- 故障・異常時の連絡先。

取り付け前の確認

警報器の確認
取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用であり、本体に異常のないことを確認してください。

梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体 …1個	取扱説明書(保証書付) …1枚
木ねじ <p>長さ16mm…1本</p>	アタッチメント…1個 <p>(ピン2本付)</p>

取付位置の確認

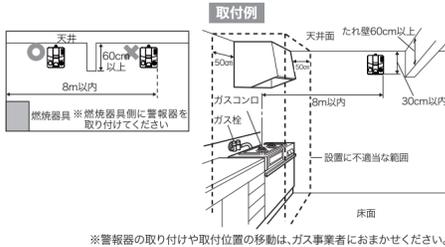
- 警報器の取り付けは、必ずこの取扱説明書と「ガス機器の設置基準及び実務指針」(一般財団法人 日本ガス機器検査協会刊)に従って行ってください。
- 警報器を決めるときは、次のことをよく確認してください。

△注意

正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。
取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

《正しい取付場所について》

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが容易にしやすい位置で、電源表示「**Ⓛ**」の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用するガス機器の場合はガス検出、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が30cm以内の位置に取り付けてください)。
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



※警報器の取り付けや取付位置の移動は、ガス事業者におまかせください。

《取り付けてはいけない場所について》

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けてください。
●レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
●振動、衝撃の激しい場所。センサの故障の原因になります。

- 30cm以下(警報器台)のたれ壁など下。警報が遅れたり、検知できないことがあります。

- 浴室、水のかかる場所、水滴が感づく場所。感電や電氣的故障の原因になります。

- たれ壁60cm以上で区切られている場所。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- すき間風が入る場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。

- 警報が遅れたり、検知できないことがあります。

- 温度が0～+50℃の範囲をこえる場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。

- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。警報が遅れることがあります。

- 業務用・工業用。家庭用です。業務用・工業用ではありません。

- 屋外では使用できません。
- 照明器具などが発生する熱の影響を受けやすい場所。
- 食器棚などの上部。

- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。

取り付けかた

有効期限の記入
この警報器の有効期限は、取り付け後5年間です。必ず、警報器本体に貼つてある「有効期限シール」に、有効期限の年月を記入してください。
警報器本体の取り付け

△注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。
- 警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。

■木ねじで取り付ける場合

- 木ねじ(16mm)を途中までねじ込み、仮止めする。
 - ※コンクリート壁・石膏ボード壁の場合は、市販のガールプラグを打ち込んで木ねじを使用してください。
- 仮止めた木ねじに、本体のフック部を引っかける。
- 木ねじを締め付け、本体を固定する。

■アタッチメントで取り付ける場合(石膏ボード専用)

- 注意
 - ピンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。
 - 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
 - 万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

- アタッチメント裏面の両面テープの剥離紙を剥がしてください。
- 壁面にアタッチメントを押し当て、アタッチメントの石膏ボード用ピン①、②を立ててから差し込んでください。その際、市販の石膏ボード用のピン差し込み工具またはドライバーの柄を押しこむことで石膏ボード用ピンの頭を押しつけて根元まで差し込んでください。
- 警報器をアタッチメントのフック部に引っ掛けてください。

引きひもを取り付け

警報器に引きひも(別売品)を取付け、警報停止スイッチを操作することができます。

■取り付けかた

- 本体裏面の封印シールを剥がす。

- 引きひもを本体の取付部へカチッと音がするまでしっかりと差し込む。
- 引っ張って抜けないことを確認する。

取付け後の点検(お客さま立会いのもと実施)

この警報器は、通電開始後自動でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。「自動初期点検機能の確認」を行ってください。
続けて「警報ランプと警報音の確認」を行ってください。
通常「作動点検」は不要ですが、お客さまから作動確認の要望があった場合は、「作動点検」を行ってください。

自動初期点検機能の確認

警報器が一度も起動していないときに警報停止スイッチを約3秒押しと、「**ピー**」と鳴り、電源表示「**Ⓛ**」が点灯し、緑(おしらせ)ランプが点滅を開始します(電源起動)。
約30秒後にランプが全点灯した後全消灯し、正常であれば「警報器正常です」と鳴って、警報器は監視状態に入ります。
万一、異常あれば、「故障です」と鳴りやまずで、警報